



## ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW プログラミング教育後進国ニッポン。ロボット・プログラミング教育が生み出すイノベーションとは

### 追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：川原俊明)は6月に大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW(オウテモンビュー)」を開設しました。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

### OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

サイトは追手門学院オリジナル記事と他メディアに掲載された関連記事の2つで構成。

本学のような文系学部中心の大学としては珍しい取組で改善を重ね充実していきます。



OTEMON VIEW トップページ

### ニュースを教育・研究の視点から

かつて「MADE IN JAPAN」を誇った日本ですが、テクノロジー分野では海外企業に遅れをとっています。そんな中、今年度から小学校で必須化されたプログラミング教育は子どもにどのような成長をもたらし、社会にどう変化を与えるのでしょうか。追手門学院大手前中・高等学校のロボットサイエンス部の顧問として、世界大会に6年連続出場し、世界一にも導いた福田哲也先生の解説です。

(以下は主なポイント)

### プログラミング教育の本質

○主体的な学びを実現するロボット・プログラミング教育

○子供たちにもたらす成長とは?

### 日本が再び世界のトップになるために

○ロボコン世界大会から見える世界の現状

○日本が遅れをとった要因

○子どもの可能性を引き出す仕掛け作り

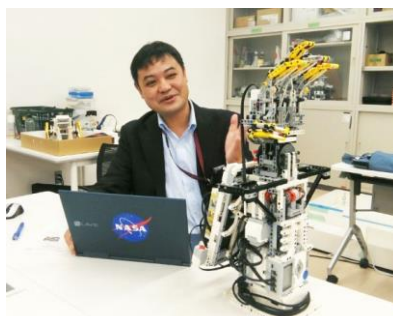
### ロボットづくりは人づくり

○求められるクリエイティブ人材

○ロボット開発で社会問題にアプローチ

詳しくは記事本体をぜひご覧ください。

記事本体：<https://newsmedia.otemon.ac.jp/1184/>



生徒が製作した手話通訳ロボットについて語る  
追手門学院ロボット・プログラミング教育推進室の福田哲也室長

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・仲西